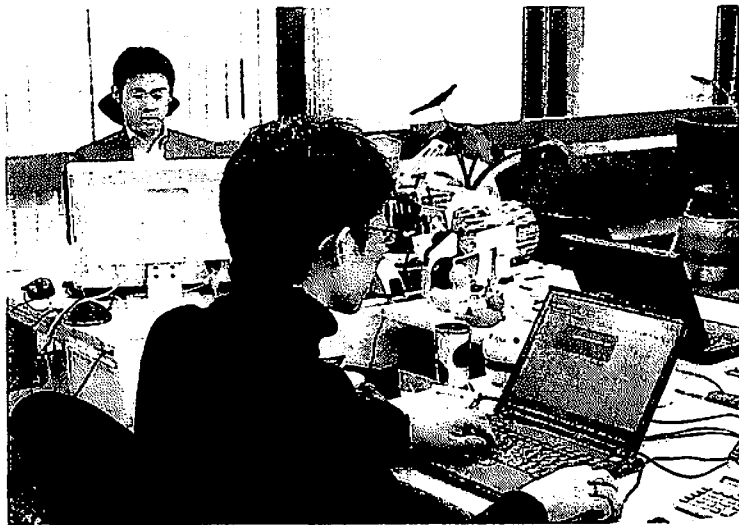


ネット通じ賛同者集め 「署名TV」

一人からでも社会運動



「署名TV」をつくったユニテッドピープルのオフィス。奥が関根健次さん＝横浜市中区

一人からでも社会に思いを伝え、賛同者を募りたい。そんな願いをかきたてるサイトができた。インターネットを通じて署名集めができる「署名TV」。きっかけはパレスチナ問題だった。

「二〇〇六年のイスラエルのレバノン侵攻に憤りを感じ、外務省にメールしたが反応がなかった。一人の声の無力さを感じていたとき、ネット

トで署名を集められないだろうかと思いついた。ネットベンチャー企業「ユナイテッドビーブル」(横浜市中区)社長で藤沢市出身の関根健次さん(32)はそう話す。

十年前、旅行の途上で訪れたパレスチナ自治区のガザで中東の実情を目の当たりにしショックを受けた。「問題を解決するために何かできないか」。抱き続けていた思いを

実現するため、〇三年に募金サイト「イーココロ」を始めた。広告のクリックなどが非政府組織(NGO)などへの募金になる。収支が合い始めた昨年三月、今度は「署名TV」を始めた。

登録すれば誰でも無料で利用できる。差別表現や事実を反すること、個人攻撃はないかなど最低限の基準は定めたが、基本的にはどんな内容でもOKだ。今年一月までに署名呼び掛け累計は六百件に迫り、署名総数は二十三万件を超えた。「アニメの続編希望」など趣味的なものから、「沖細・泡瀬干潟の埋め立て中止を求める署名」など内容はさまざま。



イスラエルの攻撃を受け建物が崩壊したガザ地区(パレスチナ子どものキャンペーン提供)

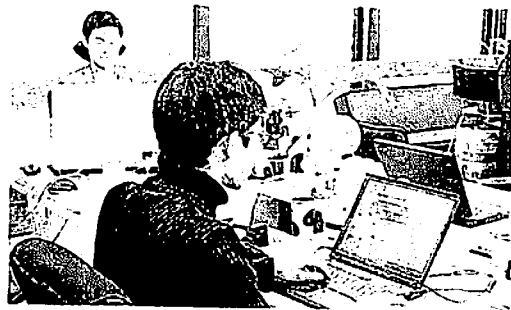
現在伸びているのは、NPO法人(特定非営利活動法人)「パレスチナ子どものキャンペーン」などが呼び掛けをガザ封鎖の解除を求める署名。関根さんのこだわりの地でもあり、昨年十月にスタートした。同十一月に大規模なガザ攻撃が始まったこともあり、締め切りの二月末までに目標の二十万人は超えそうだという。

「携帯サイトで署名できるのが(効果が)大きく、若者も関心を持ってくれた。社会が人の痛みや敏感になってきているのかもしれない」と同キャンペーンの田中好子事務局長。現地情報をすぐに得られ、広く知らせることができるともネットの効用だという。ただ、「ネットにアクセスできない人もいる」と従来型の紙の署名も続けている。

署名TVは赤字。このためリストのダウンロードや印刷フォーマットの利用は近く有料化する方針だ。ただ、アイデアを思い込むつもりはない。「まねするところが出てきてもいい。あくまで目的は社会的な問題の解決。次は一人ひとりの意見が社会に反映できる仕掛けを考えている」と、関根さんは早くも新たな構想を温めている。

署名TVのホームページアドレスは、<http://www.signetv.com/>

一人でも始められる社会運動



「署名TV」をつくったユナイテッドピープルのオフィス。奥が関根健次さん(横浜市中区)

一人からでも社会(思)いを伝え、賛同者を募りたい。そんな願いをかかえるサイトができた。インターネットを通じて署名集めができる「署名TV」。

「V」。きっかけはパレスチナ問題だった。「二〇〇六年のイスラエルのパレスチナへの侵襲を感じ、外務省にメールしたが反応がなかった。一人の無力さを感じていたとき、ネットで署名を集められないだろうかと思いついた」。

ネットベンチャー企業「ユナイテッドピープル」(横浜市)社長の関根健次さん(32)はそう話す。

十年前、旅行の途上で訪れたパレスチナ自治区のガザで中東の実情を目の当たりにしショックを受けた。「問題を解決するために何かできないか」。抱き続けていた思いを実現するため、〇三年に募金サイト「アイコ



イスラエルの攻撃を受け、建物が崩壊したガザ地区(パレスチナ子どものキャンペーン提供)

パレスチナ問題きっかけに開設

ネットに署名集めサイト

「コロ」を始めた。広告のクリックなどが非政府組織(NGO)などへの募金になる。収支が合い始めた昨年三月、今度は「署名TV」を始めた。

登録すれば誰でも無料で利用できる。差別表現や事実を反すること、個人攻撃はないかなど最低限の基準は定めたが、基本的にはどんな内容でもOKだ。今年一月までに署名呼び掛け累計は六百件に迫り、署名総数は二十三万件を超えた。「アニメの続編希望」など趣味的なものから、「沖縄

現在伸びているのは、NPO法人(特定非営利活動法人)「パレスチナ子どものキャンペーン」などが呼び掛ける「ガザ封鎖の解除を求める署名」。関根さんのこだわりの地でもあり、昨年十月にスタートした。同十二月に大規模なガザ攻撃が始まったこともあり、締め切りの二月末までに目標の二万人は超えそうだった。

「携帯サイトで署名できるのが(効果が)大きく、若者も関心を持ってくれた。社会が人の痛みに敏感になってきているのかもしれない」と同キ

キャンペーンの田中好子事務局長。現地情報をすぐに得られ、広く知らせることができるともネットの効用だという。ただ、「ネットにアクセスできない人もいる」と従来型の紙の署名も続けている。

署名TVは赤字。このため、リストのダウンロードや印刷フォーマットの利用は近く有料化する

方針だ。ただ、アイデアを思い込むつもりはない。「まねするところが出てきてもいい。あくまで目的は社会的な問題の解決。次は一人ひとりの意見が社会に反映できる仕掛けを考えている」と、関根さんは早くも新たな構想を温めている。

署名TVのホームページアドレスは<http://www.shomei.tv/>

署名TV

ネットで賛同者集め

一人からでも社会に思いを伝え、賛同者を募りたい。そんな願いをかなえるサイトができた。インターネットを通じて署名集めができる「署名TV」。きっかけはパレスチナ問題だった。

「署名TV」を始め、広告のクリックなどが非政府組織(NGO)などへの募金になった。ユナイテッドピープル(横浜)社長の関根健次さん(33)。十年前、旅行の途上で訪れたパレスチナ自治区のカザフで、東の実情を目の当たりにし、「問題解決に何ができるのか」と、三年に募金サイト「イコココロ」を始め、今年一月までに署名呼

掛ける「ガザ封鎖の解除を求める署名」。関根さんのこだわりの地でもあり、昨年十月に

「携帯サイトで署名できるのが(効果が)二月末までに目標の一人は超えそうだった」と、関根さん

大きく、若者も関心を持ってくれた。社会が人の痛みに敏感になってきているのかもしれない」と同キャンペーンの田中好子事務局長。現地情報をすぐに得られ、広く知らせることができるともネットの効用だという。



「署名TV」をつくったユナイテッドピープルのオフィス。奥が関根健次さん＝横浜市中区

のため、リストのダウンロードや印刷フォーマットの利用は近く有料化する方針だ。ただ、アイデアを思い込むつもりはない。「あくまで目的は社会的な問題の解決。次は一人ひとりの意見が社会に反映できる仕掛けを考えている」と、関根さんは早くも新たな構想を温めている。